

# アーツカウンシル東京

## 平成29年度東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第2期 平成29年度 芸術文化による社会支援助成第2期 対象事業決定のお知らせ

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)では、平成29年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第2期、及び平成29年度 芸術文化による社会支援助成第2期の対象事業を決定いたしました。

今回は単年助成129件、社会支援助成27件の申請があり、アーツカウンシル東京での厳正な審査の結果、**単年助成53件、社会支援助成6件**を採択いたしました(単年助成採択率41.1%、社会支援助成採択率22.2%)。なお、**単年助成予定総額61,570千円、社会支援助成予定総額4,800千円**です。

### ◆東京芸術文化創造発信助成

「東京芸術文化創造発信助成」は、東京の都市魅力の向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成します。

【単年助成プログラム】では、この1年間に東京都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、国際的な芸術交流活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動をサポートします。

### ◆芸術文化による社会支援助成

障害者や高齢者、子供、青少年、在住外国人等が主体的に関わる芸術活動や、社会や都市のさまざまな課題を見据え、その改善に資することを目的とした先駆的な芸術活動を支援します。

## ■ 今期の助成 申請・採択件数

平成29年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第2期

区分 分野	芸術創造活動		国際芸術交流		創造環境向上		申請件数	採択件数
	申請	採択	申請	採択	申請	採択		
音楽	13	4	6	3	0	0	19	7
演劇	19	6	12	4	0	0	31	10
舞踊	10	5	4	3	0	0	14	8
美術・映像	12	4	7	3	0	0	19	7
伝統芸能	17	12	2	1	0	0	19	13
複合・他	9	2	14	4	4	2	27	8
<b>合計</b>	<b>80</b>	<b>33</b>	<b>45</b>	<b>18</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>129</b>	<b>53</b>

平成29年度 芸術文化による社会支援助成 第2期

区分 分野	申請件数	採択件数
複合・他	11	3
音楽	4	1
演劇	6	1
舞踊	2	1
美術・映像	2	0
伝統芸能	2	0
<b>合計</b>	<b>27</b>	<b>6</b>

・対象期間:平成29年10月1日以降に開始し、平成30年9月30日までに終了する活動

■ 平成 29 年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第 2 期採択事業 一覧

申請 129 件、採択 53 件

(単位:千円)

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請活動名	交付決定額
音楽	都内での芸術創造活動	都内	団体	一般社団法人 もんてん	第4回両国アートフェスティバル2018	400
				オーケストラ・プロジェクト	オーケストラ・プロジェクト2017	450
				Point de Vue	Point de Vue vol.12	670
				近藤譲70歳記念演奏会実行委員会	近藤譲 七十歳の径路「線の音楽」の過去・現在・未来	580
	国際的な芸術交流活動	海外		Marginal Consort	Marginal Consort	700
				ミュージック・フロム・ジャパン推進実行委員会	ミュージック・フロム・ジャパン 2018年音楽祭	2,000
				サンガツ	サンガツ 中国ツアー 公演&ワークショップ	1,010
演劇	都内での芸術創造活動	都内	sons wo:	円盤に乗る派『正気を保つために』	1,200	
			公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座	鶴去冬来(仮題)-そしてある風の吹かない冬の日に鶴はいなくなった 老人ホームの孤独を描いた水墨画コラージュ	1,000	
			佐藤佐吉演劇祭実行委員会	佐藤佐吉演劇祭2018(仮)	1,800	
			ミクニヤナイハラプロジェクト	ミクニヤナイハラプロジェクト最新作『曖昧な犬』吉祥寺シアター公演	1,000	
			ブス会	男女逆転版・痴人の愛	1,600	
	国際的な芸術交流活動	海外	ホエイ	ホエイ『スマートコミュニティアンドメンタルヘルスケア』	1,200	
			有限会社quinada	ハイバイ「ヒッキー・ソトニデテミターノ」	3,150	
		都内および海外	一般社団法人 shelf	shelf「Hedda Gabler」南京・上海ツアー公演	1,560	
			都内および海外	範宙遊泳	範宙遊泳×The Necessary Stage 滞在制作・公演(シンガポール/東京)	4,000
			海外	飴屋法水	飴屋法水『教室』ヨーロッパ2都市ツアー公演	2,400
舞踊	都内での芸術創造活動	都内	合同会社S20	Somatic Field Project 2018年度 本公演(仮)	2,000	
			プレーニャ	大沼由紀舞踊公演 Seno Flamenco	800	
			OrganWorks	OrganWorks公演「聖獣 live with a Sun」	700	
			山麓	lal banshees新作ダンス公演	600	
			ブッシュマン	新作ダンス公演(仮)	1,000	
	国際的な芸術交流活動	海外	Baobab	Baobab The 2018 San Francisco International Arts Festival (SFIAF)ツアー	800	
			団体せきかおり	関かおりPUNCTUMUN 新作 北米ツアー	2,580	
		都内	クリエイティブ・アート実行委員会	Integrated Dance Company響-Kyo 第5回公演 二作品上演(タイトル未定)	2,000	

(単位:千円)

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請活動名	交付決定額	
美術・映像	都内での芸術創造活動	都内	個人	東出菜代	「親密な部屋」展	400	
			団体	アラカワ・アフリカ実行委員会	アラカワ・アフリカ8: オープンスタジオ	500	
				特定非営利活動法人アートフル・アクション	Behind the Terrain	400	
				アート・ユーザー・カンファレンス	「未来芸術家列伝」建物/ツアー/WEB・出版/カンファレンス、による展覧会	1,000	
	国際的な芸術交流活動	海外	個人	川島 崇志	Ambience / Imagination	400	
			団体	アートトレイスギャラリー	(仮)ポーランド・日本交換展示 Double Line - in Poland	800	
		都内	個人	現王園 セヴィン	CHUTO JOON	400	
伝統芸能	都内での芸術創造活動	都内	団体	東京神楽坂組合	第三十五回 神楽坂をどり	1,000	
			個人	福原 徹	徹の笛 -第九回福原徹演奏会-	400	
				山本 亜美	第三回 山本亜美 二十五絃箏ソロリサイタル	350	
			団体	邦楽実演家団体連絡会議	若手邦楽聴き比べ	1,500	
			個人	萩岡 松韻	萩岡松韻の世界 2017 in 東京	200	
				武田 佳泉	武田 佳泉	200	
			団体	特定非営利活動法人 チームいただきます	一粒萬倍 A SEED	1,000	
			個人	清元 志寿子太夫	第3回 清元志寿子太夫 清元一太夫 清元演奏會	300	
				吉村 七重	邦楽展Vol.30 Koto Collection Today	400	
			団体	み絲之會	み絲之會第三回公演	430	
				NHK邦楽技能者育成会同窓会	現代邦楽「響」演奏会・講習会	500	
				「今藤政太郎作品演奏会」実行委員会	第3回今藤政太郎作品演奏会	1,200	
	国際的な芸術交流活動	海外	個人	桐崎 鶴女	桐崎鶴女 リトアニア共和国での地唄舞公演・ワークショップ(仮)	300	
複合・その他	都内での芸術創造活動	都内	団体	Body Arts Laboratory	Whenever Wherever Festival 2018 (通称 ウェン・ウェア・フェスティバル 2018)	400	
				メメントC	「女人往生環—女性を廻る救済と芸能の曼陀羅—」	1,190	
				シアターコモンズ実行委員会	シアターコモンズ	2,800	
	国際的な芸術交流活動		海外	団体	一般社団法人 TodaysArt JAPAN	「Hack the World — Biotech × Art Initiative (仮題)」	2,500
					株式会社ニューディア	GEORAMA2017-18	2,400
					特定非営利活動法人DRIFTERS INTERNATIONAL	In/Visible Stories: A Travelling Festival	3,600
	芸術創造環境の向上に資する活動		都内および海外	団体	公益社団法人 国際演劇協会日本センター	高校生や学生のための観劇・劇評応援プロジェクト	1,000
					RealJapan実行委員会	RealJapan Project(仮)	800

## ■ 採択結果の概況

今期の申請件数は129件となり、対前年度第2期比で8%増となりました(前年度第2期の申請数は110件)。以下のとおり、各分野の採択概況をまとめました

### ● 音楽分野

音楽分野の申請は、日本の作曲家や演奏家の記念年に因んだ特集公演、作曲家グループの自主企画によるオーケストラや室内楽公演、国内外の特色ある音楽フェスティバルをはじめ、即興音楽や観客参加によるワークショップまで幅広い内容の申請がありました。審査にあたっては、事業の実現性、計画の具体性に加えて、当プログラムの審査基準である企画の独創性や当該分野への波及効果等を総合的に判断しています。活動歴が成熟期に属する場合や継続的な事業については、ガイドラインの「各ステージにおける助成方針」に照らし、慎重に検討しました。

### ● 演劇分野

近年の当助成プログラム第2期と比較すると申請件数が増加しています。今期は特に「国際的な芸術交流活動」での申請が多く見られました。各団体が積極的に海外の共同制作の相手先との関係を丹念に築いていることが見てとれる活動が増加傾向にあります。また、自身の特性を活用し、さらに押し進めようとする意欲的な活動が活動拡大・発展期の団体に目立ちました。ほか、独創性の高いフェスティバル企画が複数申請されたことも特徴的です。審査にあたっては、「助成の基本方針」に照らし、総合的に判断しました。

### ● 舞踊分野

複数年に跨る国際プロジェクトの一環である海外公演や、新しいグループの旗揚げ公演、公共劇場において次なる成長を目指す若手の新作公演、ダンサー育成とテクノロジーを用いた新たな身体表現の開発を目指す活動など、コンテンポラリーダンスの若手及び中堅層の力強い企画が目立ちました。また、フラメンコなど舞踊分野における幅広い申請が寄せられました。審査基準に則り、各申請団体の活動実績や目標に着目しながら、舞踊分野への影響力や申請団体の次のステップにつながるような創造性溢れる意欲的な活動を評価しました。

### ● 美術・映像分野

美術・映像分野では、当助成プログラムに初めて申請する個人・団体が全体の7割近くを占め、若手から中堅を中心に「国際的な芸術交流活動」での申請が目立ちました。今回で6期目となる個人申請(平成27年度より開始)では、アーティスト以外にもキュレーターからの申請も複数あり、今後の新しい傾向につながることを期待されます。審査においては、当助成プログラムの審査基準に照らして事業の目的と企画内容の整合性及び実現性、また、事業の持つ影響力・普及力を総合的に判断しました。

### ● 伝統芸能分野

個人からの申請件数が大幅に増加しました。申請件数の約半数が当助成プログラムへの初めての申請という傾向は変わらずに続いています。申請種目は、箏曲、清元、常磐津、長唄、邦楽囃子、創作邦楽、日本舞踊、津軽三味線、現代邦楽、複合的な企画等、多岐にわたるものでした。審査基準の「継承性」の面で優れた事業が多く、高い採択率になりました。またレパートリーの開拓や観客の拡大等、各種目の将来に向けた意欲的な事業も目立ちました。

### ● 複合・その他分野

複合分野(分野を特定できない芸術活動)は、今期27件の申請があり、複合分野に相応しいインパクトのある事業を8件採択としました。申請数は、前年度との比較で増加傾向が見られます。申請内容は、多角的な要素に着想したのから分野横断的と言えるさまざまな活動の申請があり、「助成の基本方針」に基づいて総合的に審査及び評価を行いました。

## ■ 平成 29 年度 芸術文化による社会支援助成第 2 期 採択事業 一覧

申請 27 件、採択 6 件

(単位:千円)

活動分野	活動内容	実施場所	申請者名	申請活動名	交付決定額
複合・その他	障害者や高齢者、子供、在日外国人等とつなぐ環境整備	都内	よむよむ・わくわく広場 実行委員会	よむよむ・わくわく広場 in 府中	350
舞踊	芸術創造活動	都内	特定非営利活動法人 みんなのダンスフィールド	新しいインクルーシブ・ダンス -ひらかれたアート交流による「共創」を目指して-	850
複合・その他	芸術創造活動	都内	表現クラブがやがや	がやがやライブはじまるよ!	1000
音楽	障害者や高齢者、子供、在日外国人等とつなぐ環境整備	都内	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	みんなで聴こう! 身体で聴くコンサート(仮称)	1000
演劇	障害者や高齢者、子供、在日外国人等とつなぐ環境整備	都内	特定非営利活動法人シニア演劇ネットワーク	シニア劇団かんじゅく座第12回公演「(仮題)みのりの畑」	800
複合・その他	芸術創造活動	都内	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	Baby Space	800

### ■ 採択結果の概況

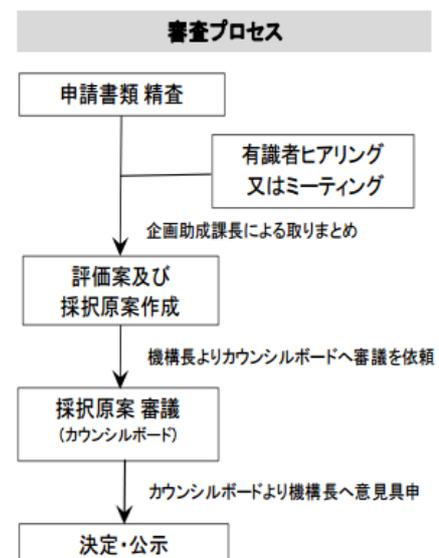
今期の申請件数は今年度第1期の20件に対し27件と増加し、その内6件が採択となりました。審査に際しては、公募ガイドラインに掲げる「審査の視点」に照らして、実現性や課題意識の明確さなどを重視しました。知的障害のある人々と長年演劇活動に取り組んできた団体や、聴覚障害のある人々の音楽鑑賞にテクノロジーを活用する試み、児童劇団による新たなインクルーシブ・シアター(少人数の障害児や乳児を対象としたパフォーマンス)の取組みなど、障害者関連の事業が新規で複数採択となった点が今期の特徴となっています。

当助成プログラムは年2回公募しております。障害者関連以外の事業につきましても随時ご相談に応じますので、申請をご検討の場合はお問合せください。

### ■ 審査プロセスと採択方法

以下の審査プロセスで、採択を決定しています。

提出された申請書及び添付資料をアーツカウンシル東京が精査し、事前調査や外部有識者の意見を踏まえて企画助成課長が評価案及び採択原案をとりまとめます。採択原案をアーツカウンシル東京機構長がカウンシルボードに審議を依頼し、カウンシルボードでの審議及び意見具申を経て、決定します。



#### 【事業に関するお問い合わせ】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画室 企画助成課 佐藤  
TEL : 03-6256-8431 FAX : 03-6256-8828 E-mail : josei@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団) 広報担当: 森 (隆)、圓城寺  
TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp

<http://www.artscouncil-tokyo.jp/>